

令和5年8月14日

豊島区

株式会社日本政策投資銀行が発行する サステナビリティボンドの購入について

令和2年7月、豊島区は東京都で初めて「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」にダブル選定され、SDGsの目指す「誰一人取り残さない」社会の実現に取り組んでいます。

基金の運用においてもSDGsの推進に貢献するため、令和5年8月14日、「株式会社日本政策投資銀行」が発行するサステナビリティボンドを購入しました。

○ 選定理由

- ・ 日本政策投資銀行は、全額政府出資の株式会社であり、危機対応業務及び特定投資業務等を行っている。
- ・ 危機対応業務は大規模災害などの被害に対処するために必要な資金を供給するもので、投融資等を通じて地域社会の発展・活性化に貢献するなど社会的意義があり、SDGsの実現に寄与するものである。

今後も本区は、SDGs未来都市として、SDGsの理念や目標を踏まえて積極的な取り組みを推進し、国際アート・カルチャー都市の実現に努めてまいります。

※ SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業とは

「SDGs未来都市」とは、SDGsの理念に沿った取り組みを推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通し、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域を内閣府が選定するもの。また、その中で特に先導的な取り組みが「自治体SDGsモデル事業」として選定される。（参考リンク：[「SDGs未来都市」豊島区](#)）

※ サステナビリティボンドとは

資金使途が環境改善に資するもの（グリーン性）及び社会的課題の解決に資するもの（ソーシャル性）の双方のプロジェクトに要するものに限定される債券。日本政策投資銀行が発行するサステナビリティボンドは、環境・社会への配慮がなされた事業などの原資としてエネルギー分野における事業者・プロジェクトへの投融資、アドバイザリーの提供、運輸・交通分野における事業者・プロジェクトへの投融資の提供に活用されることから、国際的なサステナビリティボンド原則に適合しているとの第三者評価を得ている。